

‘14地域のSTORY’

～ vol.8 平林～地域の住民は地域で守る～みんなの思い～ これまでも。これからも。

ニュートラム南港ポートタウン線住之江公園駅からフェリーターミナル駅まで実に5駅にまたがる平林地域。阪神高速やフェリーターミナルがある利便性から物流関係を始め、多くの企業が集まっています。

かつては、今の阪神高速堺線あたりが海岸線で、それより西は海でしたが、江戸時代の和川付け替え工事を契機とした新田開発により西へ西へと土地は広げられていきます。明治に入って以降も開発は続き、昭和7年に釜口町・平林町(当時)の埋め立てが完成。戦時中は軍用地として高射砲陣地となっていました。戦後の大阪港復興計画により、平林貯木場の整備が始まります。昭和33年7月に着工された南港開発により造成地には鉄鋼や機械工場、発電所などが、また南港東には市営住宅や公団住宅などが建ち、昭和46年平林小学校が住之江小学校から独立して開校。昭和56年にはニュートラムが開業、材木の町として活況を呈し、人々の暮らす平林の都市基盤が出来上がります。そして、この頃こそが、今に続く地域のみなさんのまちづくりのはじまりだったのです。



昭和55年頃の風景(貯木場)



昭和55年頃の風景(南港前団地)

平林地域では、高齢者など買い物に不自由な方への対応策として、企業と連携して青空特選市場「ふれあいマルシェ」を開催したり、地域自らコミュニティバスを運営するなど先駆的な取り組みを行っています。‘地域の住民は地域で守る’との強い信念で平林のまちづくりに取り組むさざんか平林協議会の松浦会長と佐野副会長、そしてネットワーク推進員として活躍する川添さんに思いを語っていただきました。

81歳人生の半分を奉仕活動に

松浦 僕は昭和52年に平林にきました。当時はまだニュートラムもなくね。その頃からの風景の移り変わりも見えてきたんです。昭和53年に町会を立ち上げました。当時は町会活動の中でもいろいろと難しいこともあって、そんな中、自分の力で住民を守ろうと強く思ってたんです。その一念で、40年間町会長をやってきて、町と一緒に歩いてきて、理想のまちになるようにできるだけことはやりとげたと思います。81歳だから人生の半分をかけて。ここまでやってこられたのはスタッフのおかげだと本当に思います。

「やってみ」の一言を後押しに

佐野 私は34歳の時に平林に来て、声をかけられて女性部の班長になりました。フルタイムで仕事をしていたので、できることだけで、と引き受けただけ有給休暇が全部つぶれました(笑)。でも人が好きなんです。ちょっと苦になりませんでしたね。

松浦 佐野さんが入って、平林は大きく変わったね。熱心でアイデアが豊富。‘ひら茶’(ふれあい喫茶)もそうだった。

佐野 不安もあったけど会長が「やってみ」と後押ししてくれたから始められた。でも最初は柿とりんごだけ出すことから始めてね。

30人くらいしか集まらなかったのが、今は130人くらい毎回来てくれます。‘ひら茶’がコミュニティの中心となっていて、各町会でも喫茶をやって、そこにも行って、‘ひら茶’にも来て、それでお年寄りの様子が伝わって見守りができるんです。川添さんが中心となって、いろいろな人に声をかけてくれて、相談のよりどころとして支えてくれているわね。

やってみたいことがいっぱいあって

川添 私は21歳で平林に来まして、22歳でいきなり町会の班長になってしまいました。さらに「あんたできそうやから」ってネットワーク推進員になる怒濤の展開に(笑)。地域の方の相談に乗ったり見守りをする役割ですが、やっぱり私も人が好きで、喜んでもらいたいと思う気持ちが強いのかな。まだまだやりたいアイデアがいっぱいあるんです。

松浦 女性の力は本当に大きい。活用しないと地域を守れない。僕はその思いは強いんです。ボランティアをしたいときっかけを待っている人が多いよだから、どんどん活躍してもらえよう風通しのいい協議会にしたいと思います。



地域の中心'ひら茶'



さざんか平林協議会 松浦会長(中央)
さざんか平林協議会 佐野副会長(右)
平林地域ネットワーク推進員 川添さん(左)

e-SUMINOe 地域を元気にするビジネスプランコンテストを開催します!

住之江区まちづくりセンターと住之江区社会福祉協議会が共催で、住之江区内の地活協(※地域活動協議会。下記の説明も併せてご覧ください。)とともに地域課題を解決する取り組みを応援するビジネスプランコンテストが開催されます。

地活協とともに地域活動をさらに元気にしていくアイデアをお持ちの方はふるってご応募ください。

募集テーマは、地活協の活動資金獲得につながる「ビジネス手法を用いた地域課題解決プラン」を中

心として、「職種・領域を超えた協働による地域課題への取り組み」、「これまで地域活動に関心の薄かった住民層の参加促進と担い手拡大」の3つです。

詳細はまちづくりセンターのホームページをご覧ください。

【問合せ】住之江区まちづくりセンター
☎6654-5017

応募方法やスケジュール、応募資格など詳細はこちら→

みんなのアイデア
楽しみにしてるで〜



広報さざんか12月号 掲載内容誤りの お詫びと訂正

広報さざんか12月号地活協通信14地域のSTORYにおいて、インタビューさせていただいた中山貴詞さんのお名前を誤って隆嗣さんと掲載していました。

お詫びとともに訂正させていただきます。

地活協とは 地域活動協議会の略称。地域活動協議会は、おおむね小学校区単位で、連合町会やPTA等のさまざまな団体が皆で一緒にまちづくりに取り組んでいくための仕組みです。住之江区の地活協は、「〇〇地域活動協議会」、「さざんか〇〇協議会」の名称で活動しています。